

基本方針・重点方針	平成27年度重点取組					
	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
開かれた学校づくりと市民との共汗で進める教育改革	1 「学校運営協議会」の活動充実・設置拡大	学校運営協議会の取組のさらなる活動充実と中学校での設置拡大、学校運営協議会の取組の先進事例の発信・交流	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・233校・園（幼12、小166、中48、総7）に学校運営協議会を設置（市区町村別設置数は全国最多）		学校指導課
	2 「子どもはぐくみ憲章」の普及・促進	行動指針の策定・実践、すぐれた実践の発信・普及、実践推進者表彰の実施、憲章の愛称（京都はぐくみ憲章）及び新ロゴマークを活用した憲章の普及促進	子どもと共に育む京都市民憲章実践推進条例	・子どもと共に育む京都市民憲章推進協議会での審議を踏まえた取組の実施 ・27年度行動指針の策定・実践、実践推進者表彰式の実施（実施日：平成28年2月27日、参加者数：600人）、 ・憲章の愛称及び新ロゴマークを活用した憲章の普及促進		生涯学習部
	3 地域住民・保護者との共汗で進める学校統合及び新しい学校づくり	伏見区向島小中一貫教育校創設に向けた取組の推進、醍醐小学校と淳風小学校の統合に向けた取組の推進、小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議、検討の促進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・伏見区向島小中一貫教育校の平成31年4月の創設に向けて、「創設協議会」（計4回）開催等による開校準備を推進 ・醍醐小・淳風小の平成32年4月の統合・開校に向けて、「開校準備協議会」（計5回）、「新校舎建設ワークショップ」（全4回）開催等による開校準備を推進 ・京北地域小中一貫教育校創設に係る地元説明会（計7回）開催等、取組を推進 ・小規模校の保護者・地域への的確な情報提供と論議・検討の促進		教育環境整備室、学校統合推進室
確かな学力向上対策の推進	4 全ての子どもたちの可能性を最大限伸ばすことのできる教育環境づくりの推進	中学1年生の夏休みまでの期間で補習を行う中1振り返り集中学習「ふりスタ」事業の実施、小中連携で学習の遅れがちな子どもや家庭学習の習慣が身に付いていない子どもなどを対象に補習を行う未来スタディ・サポート教室を20校で実施、全小・中学校での土曜学習		・放課後学カステップ・アップ事業（中1振り返り集中学習「ふりスタ」事業（37校）及び未来スタディ・サポート教室（3校））を実施		学校指導課
	5 義務教育9年間の系統性を確保した小中一貫教育と人事交流の推進	全ての中学校ブロックで小中一貫教育推進事業を実施、小中学校合同による学校運営協議会の設置拡大、6、3割の学校における小中一貫カリキュラムの研究、小・中学校の教職員間の連携と協働の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・14ブロックで小中学校合同による学校運営協議会を設置 ・京都市小中一貫教育ガイドライン（試案）の作成 ・全小中学校を対象に小中一貫教育校による実践発表を含む研修会を実施		学校指導課
	6 ICT環境の充実	校務支援システムを活用した校務事務の効率化の推進、ICTの効果的な活用の推進、異費負担教職員の給与費等の移行に向けた教職員人事給与システム構築		・授業におけるICT活用時間数の増加（前年度比103%） ・校務支援システムの保健管理機能の運用を開始（小中全校）		学校事務支援室
	7 教員の資質・指導力向上、教職員評価	若手・中堅教員が互いに切磋琢磨しながら自ら資質や力量の向上を図る「若手・中堅教員実践道場」の実施、ミドルリーダーを核としたOJTの推進、研修・授業映像の配信や研究団体ホームページの開設等「総合教材ポータルサイト」の機能充実、英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実、給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・給与に反映する教職員評価「査定評価」の実施 ・「ミドルリーダー」層の拡大と養成に向けた研修等の実施と「京・教育研究・研修マスター」の活動充実 ・「京都府OJT実践ガイドライン（試案）」を活用した研修等の推進 ・「総合教材ポータルサイト」の機能充実と自宅等から研修映像を視聴できる「おうちポータル」の運用開始 ・英語教育や道徳教育等の喫緊の教育課題に関する研修の充実 ・育児休業中教職員の円滑な職場復帰に向けた研修の実施 ・若手・中堅教員が互いの資質・力量の向上を図る「若手・中堅教員実践道場」において小中連携等の学校間連携を推進		教職員人事課、総合教育センター
創造的で個性豊かな子ども育成	8 グローバル人材の育成に向けた国際文化観光都市・京都ならではの英語教育、伝統文化教育等の充実	全小・中学校での伝統文化体験活動の実施、京都市英語教育推進研究拠点における小学校英語の教科化等を見据えた先導的な取組の推進、英検補助事業による市立中学生、高校生の英検受験の奨励、海外研修・留学への支援、京都・観光文化検定チャレンジ事業による中学生の受験の奨励、博物館施設等での体験の充実、平安京創生館の資料を学習教材として活用推進		・全小中学校で伝統文化体験活動を実施 ・京都市英語教育推進研究拠点を22校（小16、中5、高1）指定し全国に先駆ける「京都ならではの英語教育」の実践研究を実施 ・中学生約5400名、高校生約560名が補助事業を活用して英検を受験 ・中学生による「京都・観光文化検定試験3級」チャレンジ事業による受検者数91校643名を達成 ・小学校9校で「平安京創生館」を活用した授業を実施		学校指導課、生涯学習部、生涯学習総合センター
	9 環境教育・理科教育の推進	環境教育スタンダードの全小・中学校での活用、こどもエコライフチャレンジの全小中学校での実施、KES学校版の全小・中・総合支援学校（小・中・中）の認証取得、「未来のサイエンティスト養成事業」の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・KES学校版の全小・中・総合支援学校（小・中・中）の認証取得 ・環境教育スタンダードの全小中学校での活用 ・こどもエコライフチャレンジの全小中学校での実施 ・青少年科学センターにおける「未来のサイエンティスト養成事業」の実施、探究コース会員13名（日本学生科学賞内閣総理大臣賞1名、全国児童重要発明コンテスト財団科学賞1名）、体験コース会員308名、夏期・秋冬期講座等に延792名の参加 ・青少年科学センター展示スペースのリニューアルによる「むしむしワールド」「美しい炎の世界」の新規制作		学校指導課、青少年科学センター
	# 魅力ある学校図書館づくりの推進、言語活動の充実、「第3次京都市子ども読書活動推進計画」の実践	学校図書館運営支援員の配置拡大（27年度に全校配置）、図書館所蔵図書への団体貸出の一層の促進、京都市図書館による学校・園への出前事業及び学校図書館の機能充実に向けた取組の実施、タブレット型端末PC等を活用した、学校図書館のメディアセンターとしての機能充実を図る調査研究の実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・学校司書の全小・中・総合支援学校に配置完了 ・1年間に100冊以上の本を読む子ども2万人の達成（28,719人） ・学校図書館運営の手引の作成 ・全ての京都市立小・中学校の学校図書館へ京都に関連する図書を整備 ・家庭における読書活動の啓発 ・京都市図書館所蔵図書の学校への団体貸出を実施（年間42,988冊）		学校指導課、生涯学習部、各図書館
# 社会的・職業的自立の基礎を培う生き方探究教育の充実	生き方探究教育に係る各種体験学習の充実、「中高接続プロジェクト」による「中高連携のモデル」の構築	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・スチューデントシティ学習（165校10,358名）、ファイナンスパーク学習（59校5,867名）、京都モノづくりの殿堂・工場学習（154校9,296名）、生き方探究・チャレンジ体験推進事業（77校9,802名） ・京都市・乙訓地域の中学校・高等学校の代表者による、校種間の連携を深めるための連絡会の立ち上げ		学校指導課、京都まなびの生き方探究館	
心身ともに健全でたくましい子どもの育成	# 市内113団体が参画する人づくり21世紀委員会と連携した子どもの健全育成	「人づくりフォーラム」、連続講座の開催、京都はぐくみ憲章（子どもと共に育む京都市民憲章）の普及促進に向けた実践活動の推進、各行政区での「中学生と大人の語り合い」等特色ある取組の推進		・「人づくりフォーラム」（2/27開催、参加者数600名） ・連続講座・研修会の開催（総参加者360名） ・小学生と中学生と大人の語り合い事業を各行政区（計23箇所）で実施 ・京都はぐくみ憲章の普及促進（京都市動物園に「はぐくみの樹」を記念植樹） ・ラオスから京都市動物園に寄贈された象に感謝し、ラオスの教育環境の充実と両国の子どもの友好を築く「象への恩返しプロジェクト」活動（799万円募金）を区民ふれあいまつりや各種イベントで「京都はぐくみ憲章」の啓発活動に併せて実施		生涯学習部
	# 「道徳教育推進月間」の取組や教科化に向けた先行的な実践など、しなやかな道徳教育の充実や、子どもたちの規範意識を育むための取組の充実	全小中学校における道徳の時間の公開授業実施、京都ならではの教材開発など、市長ぐるみ・地域ぐるみで小中一貫での道徳教育の更なる推進、全校での非行防止教室の実施や中学校の生徒会活動の活性化等、「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」の開催	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・全小中学校での公開授業実施をはじめ、全30校の研究指定校を中心に、小中一貫のもとで保護者や地域とともに「教科化」に向けた調査研究を実施 ・京都ゆかりの身近な題材を用いた独自の教材・指導案集を開発し、全小中学校に配布 ・「京都市中学校生徒会サミット2015」の開催（8月21日） ・「京都市子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」（計3回）の開催 ・全小・中・高等学校で非行防止教室を実施 ・しなやかな道徳教育研究指定校を中学校ブロックを基本に24校（小13、中11）指定し、9年間で目指す子ども像を共有した中での道徳教育を推進 ・全市中学校の生徒会代表生徒による「京都市中学校生徒会会議」を開催し「誇りを持てる学校づくり」をテーマに協議し、生徒会中心となり学校で推進する行動目標3項目を決議		学校指導課、生徒指導課、総合教育センター

平成27年度重点取組						
基本方針・重点方針	取組名	目標	計画・条例等	実績	備考	所属等
心身ともに健全でたくましい子どもの育成	# いじめ・不登校対策の充実	「いじめの防止等に関する条例」に基づく、社会全体でのいじめの防止等に関する取組の充実。「子どもの豊かな心と規範意識を育む関係者会議」の開催。全小・中・高・総合支援学校へのスクールカウンセラー配置及びスクールソーシャルワーカーの配置拡大。いじめや不登校等の課題の対応及び早期発見や予防に向けた教育相談体制の充実。教員が学級実態をより適切に把握するためのクラスマネジメントシートの活用。「ふれあいの社」や洛風・洛友中学校など、不登校を経験した子どもの学びと育ちを促進する諸活動の展開	はばたけ未来へ！京プラン実施計画、「京都市いじめの防止等に関する条例」	・「京都市いじめの防止等に関する条例」及び「京都市いじめの防止等取組指針」に基づきいじめの未然防止及び早期発見、迅速かつ適切な対応並びにいじめの再発防止に関する取組の充実 ・全小・中・高・総合支援学校（計25校）へスクールカウンセラーの配置を完了 ・23校の拠点校（全て小学校）にスクールソーシャルワーカーを配置するとともに、ニーズに応じ随時支援を行う派遣型スクールソーシャルワーカーを名活用 ・洛友中学校の夜間部で、不登校等の事情で実質的に義務教育を十分に受けることのできないまま中学校を卒業した者（形式卒業者）の受け入れ開始（平成28年度入学者から）		生徒指導課、教育相談センター
	# 携帯電話・インターネット不適切利用防止対策の推進	携帯電話事業者との連携による、携帯電話・インターネットの危険性等を伝える授業の実施。携帯電話市民インストラクターによる、保護者向けの啓発講座の実施。「学校非公式サイト等のネット監視システム」による、ネット上の不適切な書き込みの監視の実施。「小中学生自身が主体的に考え、大人と共にインターネットの適切な使い方を学ぶワークショップ形式のプログラム（授業モデル）」の策定	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・携帯電話事業者との連携による、携帯電話・インターネットの危険性等を伝える授業「ケータイ教室」（143校）の実施 ・「学校非公式サイト等のネット監視システム」による、ネット上の不適切な書き込みの監視（定期調査12回。検知投稿件数1,700件）の実施 ・警察署、学校関係、保護者の各代表と高校生が語り合う「薬物乱用防止シンポジウム」の開催（主催：京都市地域生徒指導連合会、人づくり21世紀委員会）（参加者180名） ・携帯電話市民インストラクターによる、保護者向けの啓発講座の実施（75回） ・「みんなで考えよう！スマートフォン・ゲーム機とのつきあひ方（携帯情報通信機器に関する学習・啓発プログラム）」の策定		生徒指導課、生涯学習部
	# 食育・健康教育・子どもの体力向上推進、体験活動の充実	学校給食における和食の推進、食物アレルギー対策の推進、全中学校・高等学校での薬物乱用防止教室の実施、エイズ教育の充実、「大文字駅伝」大会の充実、子どもの体力向上「ジャンプアップ・プロジェクト」の実施、長期宿泊・自然体験推進事業の実施		・毎月1回程度「和食推進の日」を設定し、「和食」の特徴を強調した「和（なごみ）献立」の提供を開始 ・より給食の味わいを感じることでできるPEN食器の導入開始（3か年計画での1年目として50校に導入） ・従来、調理のできなかった焼き魚等を調理することのできる「スチームコンベクションオーブン」を11校に試行導入し、合併前に導入済の京北3校を加えた14校での献立研究の推進 ・小学校の3割、全中学校・高校での薬物乱用防止教室の実施 ・「大文字駅伝」大会の充実 ・子どもの体力向上「ジャンプアップ・プロジェクト」の実施 ・3泊4日以上での宿泊型体験事業として、長期宿泊・自然体験推進事業を全市160校において実施		学校指導課、体育健康教育部、花背山の家
	# 学校における安全教育・安全管理の徹底、防災教育の推進	通学路の安全や水泳指導をはじめとする学校教育活動中の事故防止等を踏まえた「学校安全の手引（改訂版）」の活用の推進、安全教育副読本「安全ノート」の活用の推進、通学路の安全確保の取組の充実、「防災教育スタンダード」の活用の推進、防災、交通安全、安全教育や安全管理の在り方について学校教育活動全体を通した研究を行う「セーフスクール推進事業」の指定、学校・地域が連携した実践の普及、等		・「京都市通学路交通安全プログラム」を27年7月に策定し、通学路の安全確保の取組を充実 ・学校教育活動中の事故防止等のための「学校安全の手引」、安全教育副読本「安全ノート」、京都市防災教育スタンダード」の活用推進 ・緊急地震速報受信システム等を活用した避難訓練など防災に関する指導方法の普及 ・安全教育や安全管理の在り方について学校教育活動全体を通した研究を行う「セーフスクール推進事業」の指定 ・学校・家庭・地域が連携した実践の普及		体育健康教育部
障害のある子どもへの教育の推進	# 就学前からの切れ目のない支援と、総合支援学校における職業教育の充実、発達障害のある子どもへの学習支援の充実	「就学支援シート」の就学前施設での実施、白河総合支援学校東山分校（25年4月開校、28年4月本校化）を中心とした、地域・企業等と共に生徒を育む新たな職業教育の推進、総合支援学校生徒の企業実習回数拡大、LD等通級指導を受けることのできる児童生徒数の増加	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・「就学支援シート」実施就学前施設数（26年度：362施設、27年度：366施設） ・白河総合支援学校東山分校（28年4月に東山総合支援学校として独立開校）を中心とした、地域・企業等と共に生徒を育む新たな職業教育の推進 ・総合支援学校生徒の企業実習回数（26年度：938回、27年度：905回） ・LD等通級指導の充実（対象 26年度：457名、27年度：590名）		総合教育支援課
魅力あふれる高校づくりの推進	# 進路希望の実現を目指す特色ある高校づくり、市立工業高校再編に伴う「新しい工業高校」や「新しい定時制単独高校」の創設	各市立高校における魅力あふれる教育の推進、洛陽・伏見工業高校の再編に向けた新しい工業高校づくりの推進、新しい定時制単独高校創設に向けた基本計画の策定	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・普通科系5校：4年制大学現役進学率63.2%、工業高校2校：学校転換就職内定率100%（14年連続） ・京都市・乙訓地域公立高校の新しい教育制度の推進 ・「京都工芸院高校」閉校に向けた取組の推進（広報活動の充実（リーフレット・学校案内の作成、学校説明会の実施、大学や研究機関との連携協定の締結） ・「新しい定時制単独高校」の創設に向けた取組の推進（有識者が参画する公開会議の実施、「新定時制単独高校の創設に向けたまとめ」の作成、「京都市立定時制単独高校の創設に係る基本構想」の策定）		学校指導課
子育て支援の充実	# 「子どもを共に育む『親支援』プログラム」・「青少年のための『親学習』プログラム」の推進	ほっこり子育てひろば（子どもを共に育む『親支援』プログラム）の実施拡大（1,500回）、「青少年のための『親学習』プログラム」としての青少年・乳幼児のふれあひ事業の実施拡大・青少年の参加促進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・「ほっこり子育てひろば（子どもを共に育む『親支援』プログラム）」の実施（1,552回） ・「青少年のための『親学習』プログラム」としての青少年・乳幼児のふれあひ事業の実施拡大・青少年の参加促進		生涯学習部、こどもみらい館
	# 子ども子育て支援新制度の円滑な実施や、子育て環境の一層の充実に向けた私立・市立幼稚園の預かり保育の充実等	私立幼稚園における「預かり保育」の充実、市立幼稚園全園で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育を実施	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・私立幼稚園等の「預かり保育」を支援する本市独自の補助制度を実施（実支給園数69園） ・市立幼稚園全園（16園）で、原則として長期休業期間中を含む平日18時までの預かり保育を実施		総務課、学校指導課
子どもたちがいきいきと学べる安心安全で特色ある教育環境整備	# 学校施設の長寿命化・防災機能強化等の推進、学校施設マネジメント基本計画（仮称）の策定	体育館リニューアル事業：工事着手（4校）、設計の実施（4校） 体育館改築事業：工事着手（2校）、設計の実施（2校） プールリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） 校長長寿命化事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校）、基本計画策定（3校） 「学校施設マネジメント基本計画（仮称）」の策定・カルテの作成等	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・体育館リニューアル事業：工事着手（4校）、設計の実施（4校） ・体育館改築事業：工事着手（2校）、設計の実施（2校） ・プールリニューアル事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校） ・校長長寿命化事業：工事着手（3校）、設計の実施（3校）、基本計画策定（3校）		教育環境整備室
	# 学校図書館のリニューアルや学校トイレの洋式化等、学校施設の整備推進	市内産材木「みやこ杣木」を活用した学校図書館の環境整備、快適トイレ整備の促進や、洋式化に特化したトイレ改修の実施		・快適トイレ整備を17校で実施、洋式トイレ整備を12校で実施 ・「みやこ杣木」を使用した学校図書館整備を70校（小学校：46校、中学校23校、総合支援学校：1校）で実施		教育環境整備室、学校指導課
生涯学習の推進	# 市民だれもが参加できる「学びのネットワーク」の構築	生涯学習ポータルサイトの充実、博物館や大学等と連携した生涯学習事業の推進	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・生涯学習ポータルサイトの充実 ・博物館や大学等との連携による多彩な学習機会（講座・展示・イベント）を実施。		生涯学習部、生涯学習総合センター
	# 図書館サービスの充実	貸出冊数・利用者の増、「あんしん・かいてき図書館トイレ」など、利用しやすい図書館環境の整備	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	・京都市立図書館における貸出冊数765万冊、利用者数428万人 ・図書の郵送返却の実施（H27.7～） ・デジタル図書の貸出開始（27.7～） ・ブックリサイクルの実施（27.10～）		生涯学習部、各図書館